

東北道における逆走事故に係る対応について

県土整備部道路保全課
令和7年5月9日



県は、5月7日までに右折誘導看板の設置、電光右折誘導板の設置、路面矢印の追加、仮設ガードレールの設置を実施した。
また、本日開催した3者（県警、NEXCO東日本、県）担当者会議において、上記以外に早期に取り組む各々の対策内容を共有し、実施について確認した。

5月7日までに実施した対策	左記以外に早期に取り組む対策
・右折誘導看板の設置（県）	・信号機に右折用矢印を設置（警察）
・電光右折誘導板の設置（県）	・指定方向右折標識を大型化、高輝度化、信号機に添架（警察）
・路面矢印の追加（県）	・進入禁止標識を大型化、高輝度化（警察）
・仮設ガードレールの設置（県）	・カラー舗装の補修等（県）
・案内路面標示（東京方面/福島方面）の設置（県）	・逆走防止看板の設置（県）
	・本線部への大型路面矢印の設置（NEXCO東日本）

※この他、中長期で取り組む対策については、関係機関と協議を進めていく。



〈参考〉

【事故の概要】

令和7年4月26日午後10時頃、東北道上り線で、黒磯板室インターチェンジから逆走したと思われる乗用車と別の乗用車が正面衝突する事故が発生した。計10台が絡む事故となり、3人が死亡、3人が重傷、8人が軽傷を負った。

【事故後の対応状況】

4月28日（月）、逆走となったと思われる黒磯板室IC上り線分岐部にて関係者（NEXCO東日本、栃木県警、栃木県）で事故再発防止対策について協議するため現地立ち会いを実施した。

立ち会いの結果、5月7日までの緊急対策として、NEXCO東日本が電光掲示板と矢印看板、逆走防止看板を設置した。

【黒磯板室インターチェンジの概要】

供用時期	平成21年3月29日
形式	平面Y型
総事業費	約39億円
管理体制	平成21年3月25日 NEXCO東日本と管理協定締結 3月26日 NEXCO東日本と維持管理細目協定締結

※東北道接続までの区間が県道黒磯板室インター線であるが、料金所付近から東北道接続までの区間については、NEXCO東日本と維持管理について協定を締結しており、県からNEXCO東日本へ維持管理作業について委託している。

※H31年以降の黒磯板室ICにおける逆走事例は確認されていない。（H30以前については記録無し）